



高齢者が人生100年時代に元気に活躍し、心豊かに暮らす東京

人生100年時代において、「高齢者」の概念を大きく変え、いくつになっても元気で心豊かに暮らせる地域づくりを進めるとともに、一人ひとりの希望に応じて地域や社会で活躍できる環境を整え、さらには「共生」と「予防」の両面から認知症の対策を進めることで、世界に誇る「長寿社会」を実現する。

高齢者が元気に暮らし、活躍できる地域づくりを進める

- ・住み慣れた地域で、いつまでも元気で心豊かに、自分らしく生きられるよう、産官学民の協働やAI・IoT等の先端技術の活用などにより、地域包括ケアが実現した地域のまちづくりを強力にサポートする。

一人ひとりの「働く」「学ぶ」「地域活動」を応援する

- ・従来の高齢者像の枠を超え、元気で楽しいシニア期を過ごせるよう、企業等で「働く」、新たなチャレンジに向けて「学ぶ」、地域の一員として「活動する」ことを、様々な主体と連携して、力強く応援する。

認知症に向き合い、「共生」と「予防」両面の対策を進める

- ・家族も含め、尊厳と希望を持ちながら、認知症と共生していくことができる環境を整えるとともに、AI等を駆使し認知症予防に向けた研究を強力に推進する。

2030年に向けた主な政策目標

“Chōju”プロジェクトを都内全域に展開



高齢者と行政サービスをICTでつなぐ

高齢者の80%が、ICTを活用して行政サービスを利用（2030年）

健康寿命を延伸

都民の健康寿命を男女ともに延伸

都民の健康寿命

	(2017年)※	→	(2030年)
男性	82.68歳		延伸
女性	85.79歳		

※ 65歳健康寿命（要介護2以上）

社会的な活動を行う高齢者を増やす

社会的な活動（就業・学習・地域活動等）を行う高齢者の割合を75%に向上（2030年）

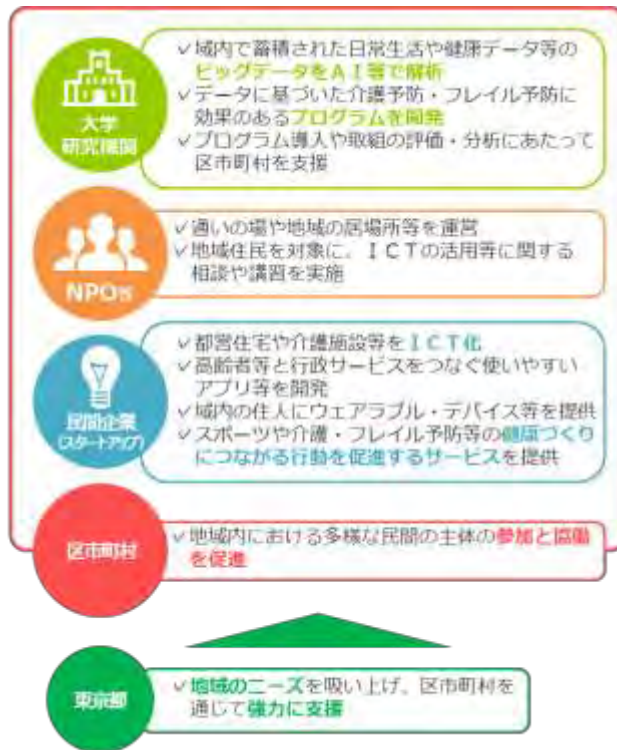


・自分らしく暮らせる“Chōju”東京プロジェクト

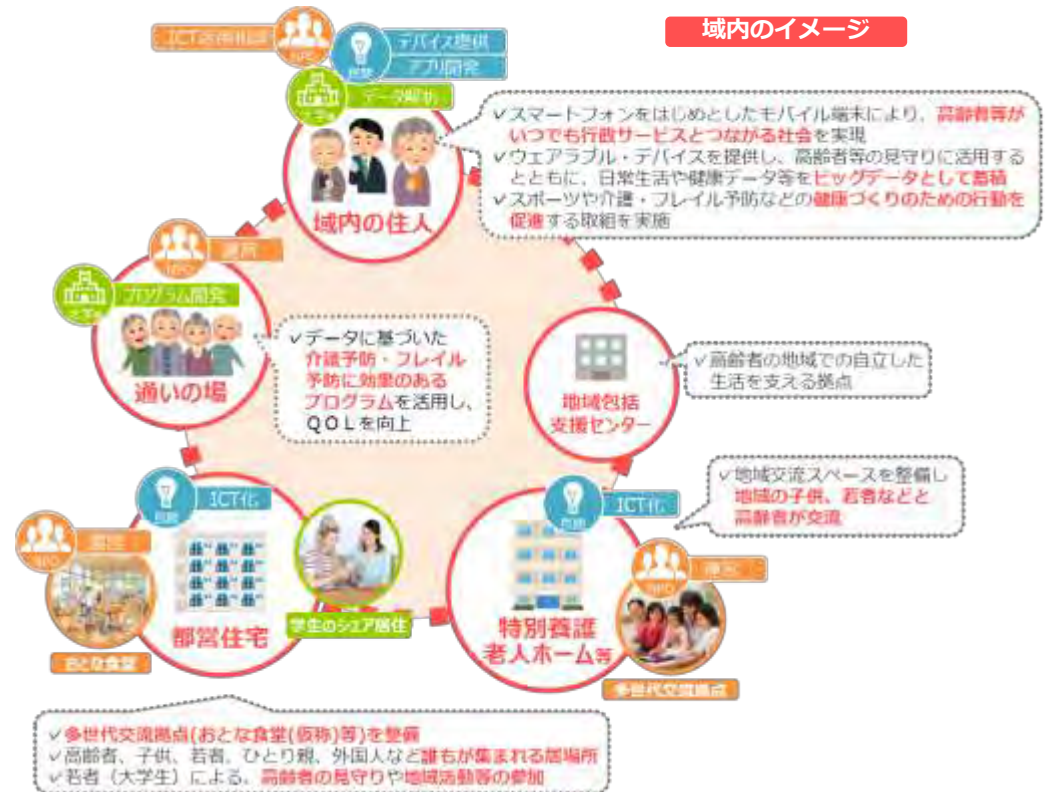
プロジェクトを都内全域に展開

- 意欲ある区市町村において、高齢者をはじめ、誰もが元気で心豊かに、自分らしく暮らせる地域を実現するため、大学・NPO・民間企業などと連携した、都営住宅や特別養護老人ホーム等を活用した取組を、都が強力に支援。成果検証の上、都内全域に展開

多様な主体の連携イメージ



域内のイメージ



(その他のプロジェクト)

- ・ 移動困難者の生活サポートプロジェクト
- ・ シニアライフを輝かせるプロジェクト
- ・ 認知症との共生・予防推進プロジェクト

移動困難者の日常的な移動の負担を軽減
 高齢者の75%が社会的な活動を実施
 認知症とともに暮らす地域づくりを推進